

単 元	
六年「漢字を正しく使えるように」	
氏 名	年 組 番

どの漢字を使うか迷ったり、誤った漢字を使ってしまったりしやすいものに、「同じ読み方を
する漢字」があります。次のように考えてみると、正しい字が分かることがあります。

(訓読みの場合)

① その言葉を、漢語で言い表してみる。

- ② 穀物を倉庫にうつす。(移す・写す) ↓ (移動する) ↓ 移す。
- ② 作業が予定どおり進むようつとめる。(努める・務める・勤める) (努力する) ↓ 努める。

② 言葉を、別の訓読みで言い表してみる。

- ① 部屋のまどをあける。↓ 開(ひらく)。↓ 開ける。
- ② 温かいスープがさめる。↓ 冷たくなる。↓ 冷める。

③ その漢字を使った熟語を思いつかべてみる。

- ① 延長戦の末、やぶれる。(敗れる・破れる) ↓ 敗北 ↓ 敗れる。
- ② 音楽家が意欲的に新しい曲をつくる。(作る・造る) ↓ 作曲 ↓ 作る。

(音読みの場合)

その漢字の訓読みを考えてみる。

- ① ショウ人数で学習する。(小・少) ↓ 少ない人数 ↓ 少 (人数)
- ② 諸条件を考えて、仮セツを立てる。(説・設) ↓ 仮に立てた説明 (考え)

↓ 反説

音読み・訓読みを考えたり、同じ漢字を使うほかの言葉を探すことは、その漢字の「意味」を考えることでもあります。自分の書こうとしている言葉の意味を、使おうとする漢字の意味を、いっしょに考えよう！



チャレンジシート② きほん

学習日 年 月 日

六年「漢字を正しく使えるように」	単元	氏名	年組番	13問

一 漢字の使い方が正しいほうに、○を付けましょう。
また、別の言葉で言い表して（ ）に書き、漢字の意味を考えましょう。



・墓前に花を供え、まわりをそうじする。

(例) まわり→【周囲】
() ○ () 回り
() () 周り

・早起きにつとめる。

つとめる→【 】
() () 勤める
() () 努める
() () 務める



・運動場で転んで、ズボンがやぶれる。

やぶれる→【 】
() () 敗れる
() () 破れる

・駅前に、大きなビルがたくさんたつ。

たつ→【 】
() () 立つ
() () 建つ

・試合再カイのアナウンスに、観衆は喜んだ。

再カイ→【 】
() () 再会
() () 再開

二 それぞれの文に合う漢字を選んで、□に書きましょう。

①

聖火台がテレビに
家族そろって写真に

映る 写る 移る

②

夜が
グラスを

開ける 空ける 明ける

③

障子が
敗れる 破れる

④

最ショウ努力で最大の効果を上げる。
最
小 少

単 元	年 組 番	9問
六年「漢字を正しく使えるように」	氏 名	

一 次の(1)から(3)までの文の「・・・」で示した部分と同じ漢字を用いるものを、
あとのアからエまでのの中からそれぞれ一つ選んで、その記号に○をしましょう。

- | | | |
|-------------------------|----------------------|----------------------|
| (1) ちゆう「しよく」は
やき魚です。 | (2) バスが
「てい」しゃした。 | (3) 会社を
「せつ」りつする。 |
| ア 「しよく」ぎよう | ア 「てい」かくねん | ア き「せつ」ふう |
| イ 「しよく」りようひん | イ か「てい」か | イ しょう「せつ」か |
| ウ 「しよく」りん | ウ かい「てい」トンネル | ウ けん「せつ」がいしゃ |
| エ ちやく「しよく」りよう | エ 「てい」しいち | エ しん「せつ」しん |

二 正しい漢字を使って文を書き直しましょう。

① 強いセイ神力ちからで山に登る。

② 山おくのセイ流ながを目指す。

③ どんな時も冷セイひやに話す。

④ まちがった字をなおす。

⑤ 道路のはばをはかる。

⑥ あの人はやさしくて、あたたかい人だ。